



特別展



2011年 7月16日(土)

11月6日(日)

およげ! ゲンゴロウくん ～水辺に生きる虫たち～



◆世界の水生昆虫大集合!

世界最大のナンベイオオタガメやオウサマゲンゴロウモドキ、アフリカに生息する変わったコオイムシであるタガメモドキなどの他、水生甲虫の世界的なコレクションである当館所蔵の阿部コレクションから代表的な種を展示します。



ナンベイオオタガメ



ヒメミズスマシ

フチトリゲンゴロウ

◆水生昆虫水族館

タガメやゲンゴロウなどの大型水生昆虫、黄色い縞(しま)模様がきれいなシマゲンゴロウの仲間、オスが子守をするコオイムシ、最近減少が著しいミズスマシなど、さまざまな水生昆虫の生きた姿をご覧ください。



水生昆虫が多い池



水生昆虫が多い田んぼ

日本には、かつて低湿地が多く存在していました。湿地が水田に変わってからも良好な水環境が保たれ、私たちの身近な場所に多く水生昆虫が生息していました。

しかし、その後の農薬の大量使用や、圃場(ほじょう)整備によって多くの水生昆虫のほとんどは姿を消し、現在、多くの種類が全国的に危機的な状態にあります。

この特別展では、水の中の多様な昆虫たちを標本や生きている状態で展示するほか、その衰退の様子や保全活動を紹介します。危機的な水辺環境の実態を知ること、その再生や生物多様性を考えるきっかけとしていただきたいと思います。



ミズカマキリ

シャープゲンゴロウモドキ

シオカラトンボの幼虫を捕食するゲンゴロウの幼虫

◆水生昆虫日本オールスター

日本産の水生昆虫を代表して、ゲンゴロウ類、ガムシ類、ミズスマシ類、アメンボなど水生カメムシ類の標本を多数展示します。すでに国内からは絶滅したと考えられるスジゲンゴロウやタイワンタガメ、神奈川県で絶滅したタガメやゲンゴロウなどの貴重な標本も必見です。



スジゲンゴロウ

アトホシヒラタマメゲンゴロウ

蛙の死体にむらがるゲンゴロウ

◆減少する水生昆虫の実態と保全活動

各地で絶滅の危機に瀕している水生昆虫について、生息環境回復のためのさまざまな保全活動が始まっています。その様子を紹介いたします。

関連行事

講演会「水生昆虫を語ろう」

【日時】8月27日(土) 13:00～16:15

【場所】当館1階 西側講義室

【講演者】北野 忠 (東海大学)

田島文忠 (千葉シャープゲンゴロウモドキ保全研究会)

西原昇吾 (東京大学)

佐野真吾 (東海大学)

濱田康正 (東海大学)

苅部治紀 (当館学芸員)

【申込み】当日受付

【参加費】無料



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

■観覧料(常設展含む)

観覧料	個人	団体(20人以上)
20歳～64歳 (学生を除く)	710円	600円
20歳未満・学生	400円	300円
高校生・65歳以上	200円	
中学生以下	無料	

■休館日

毎週月曜日、9/13、9/20、10/11
(7/18～8/29、9/19、10/10は除く)

■問合せ先

生命の星・地球博物館 企画普及課
〒250-0031 小田原市入生田499
電話 0465-21-1515 FAX 0465-23-8846
<http://nh.kanagawa-museum.jp/>

※節電にご協力をお願いいたします。